

政策 04 安全で安心なまちづくり

施策 01 防災・減災対策の推進

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
災害に強いまち、減災できる人・地域になっています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	市の災害対策・防災体制に安心感を持つ市民の割合 (%) 【災害対策室】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		65.4	69	66.5	68	☀️ (向上)
評価	前年度に比べ、実績値(H30)が2.5ポイント減少した。これは、市民に対する災害対策の周知は行ってはいるものの、市民が抱く安心感につながっていないことが要因として考えられる。					☔️ (低下)
						目 標 達 成 度 (---)

指標	市民レベルでの防災・減災体制ができていると思う市民の割合 (%) 【災害対策室】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H24)	(H29)	(H30)	(H30)	
		37.6	41.3	36.3	45	☔️ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値(H30)が5ポイント減少した。これは市民が自助・共助の重要性について、あまり認識されていないことが要因と考えられる。					☔️ (低下)
						目 標 達 成 度 (---)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 防災・減災意識の高揚

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	各公民館及び小中学校（体育館）が避難所であることを知っている市民の割合（％） 【災害対策室】	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
		74.8	69.8	69.6	77	☔ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が0.2ポイント減少してはいるが、避難所の場所についての周知啓発が不十分であったことが要因と思われる。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						(---)

基本事業01 防災・減災意識の高揚

指標	家庭での防災・減災対策の平均実践項目数(全14項目中)（項目） 【災害対策室】	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
		4.8	4.5	4.6	6	☔ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が0.1ポイント増加した。これは、家庭での防災減災対策を出前講座等で周知できていることが要因として考えられる。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						(---)

基本事業02 災害情報システムの充実

指標	災害情報メール配信サービス加入者数（人） 【災害対策室】	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
		6,601	8,410	8,829	8,000	☀ (向上)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が4,19ポイント増加した。これは、メールサービスへの働きかけを積極的に行ったことが要因と考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業03 避難生活の支援

指標	避難想定住民（8,262名）への1人あたりの食数（食） 【災害対策室】	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
		22.5	7.5	8.3	9	(比較不可)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が0.8ポイント増加した。これは、備蓄計画に基づき計画的に進めているためである。対基準値は、基準値取得時の平成24年度から避難想定住民数が変わっているため、比較不可としている。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						(---)

基本事業03 避難生活の支援

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	避難所の充足率（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【災害対策室】	111	70.1	70.1	100	☂ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）は同じである。これは、昨年と同じく想定される避難者に比べ、避難所となる体育館の収容人数が少ないことによる。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						(---)

基本事業04 防災体制の充実

指標	自主防災組織が実施した防災活動日数の平均数（日）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【災害対策室】	19	18	17	22	☂ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が1ポイント減少した。これは、毎年同じ内容の活動ではないため、若干の数値の増減が発生したと考えられる。					対 前年度
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						(---)

基本事業04 防災体制の充実

指標	市や地域の防災訓練に参加している市民の割合（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【災害対策室】	15.3	11.9	12.3	17	☂ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が0.4ポイント増加した。これは、訓練参加の呼びかけが少しずつ浸透してきたことが要因と考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						(---)

基本事業04 防災体制の充実

指標	災害時に職員として果たすべき役割や初動ができる職員の割合（％）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
	【災害対策室】	88.5	76.2	81.3	90	☂ (低下)
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が5.1パーセント増加した。これは、災害対応を通じて自分の役割を認識したことが要因と考えられる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						(---)

基本事業04 防災体制の充実

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	防災協定の締結数（件）	基準値 (H24)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (H30)	対 基準値
		【災害対策室】	47	67	69	60
評価	前年度に比べ、実績値（H30）が2ポイント増加した。これは人材や物資輸送に備えた協定の締結が実施できたことが要因である。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)